

花と緑の銀行だより

238号 2026.1



くろべ牧場まきばの風のコスモス（写真：黒部支店）

目次

- ・花と緑の提言 黒部市 花と緑にあふれる、うるおいのあるまちづくり（黒部支店）・・・ 2
- ・技術講座 生態系に配慮した宿根草の庭づくり
～ルドベキア・フルギダ‘ゴールドストラム’～（職藝学院 渡邊美保子）・・・ 3
- ・緑づくりコーナー 庭木に利用する樹種の特徴と管理
～ ドウダンツツジ ～（樹木医 西村正史）・・・ 4
- ・ステップアップ研修に参加して（入善支店 飯野地方銀行 飯田好子）・・・ 5
- ・「全国花のまちづくりコンクール」で大臣賞受賞（射水市）・・・ 6
- ・この人あり 花と過ごした第二の人生（砺波支店 南般若地方銀行 田邊和子）・・・ 7
- ・報告及びお知らせ 第53回花と緑の大会 など・・・ 7

黒部市 花と緑にあふれる、うるおいのあるまちづくり

花と緑の銀行 黒部支店長

黒部市長 武隈 義一

黒部市は、富山県の東部に位置し、黒部川の源流北アルプスから富山湾にいたる、緑ゆたかな名水の里です。秘境黒部峡谷や美肌の湯宇奈月温泉、「名水百選」黒部川扇状地湧水群など、山・川・海の恵まれた自然環境と観光資源を有しています。市民憲章では「水と緑をいつくしみ、うるおいのあるまちをつくりまします。」と定めており、市民一人ひとりが緑あるまちづくりの主役となることを目指しています。

市政の中心となる黒部市庁舎は平成27年に旧三日市小学校跡へ移設しましたが、同敷地内には富山さくらの名所70選の1つである百年桜があります。通常ソメイヨシノの寿命は60年程度ですが、この百年桜は樹齢118年と大変長寿で、毎春満開の桜の花を咲かせ市役所を訪れる方や、市外・県外から訪れる人々の目を楽しませています。



写真1 旧三日市小学校の百年桜

また、地域花壇では、花のまちづくりを精力的に進めている花壇として、「前沢カンナロード」などがあります。前沢カンナロードは、アメリカ合衆国ジミーカーター元大統領が来市された際に、沿道を花で彩ったのが始まりであり、



写真2 カンナロード定植式の様子

球根の植込みから水やり・除草、カンナ芋の掘上げ貯蔵と、約7ヶ月のあいだ延長1kmに及ぶ花の道を地域住民が一丸となって管理しています。昭和59年に活動を開始し、40年以上続く地区の誇りとなっています。

当支店の活動といたしまして、緑化推進イベントを春と秋の年2回開催しております。市民の皆

様へ苗木の無料配布や花苗のプランターへの植え込み体験、グリーンキーパーによる花や緑に関する相談会などを実施し、イベントを通して家庭からの花と緑のまちづくりを推進しています。

さらに、幼少年期からの体験を通じて、花や緑を愛し育てる楽しさを知り、親しみや関心を持つことを目的に、市内小中学校を対象に「学校花壇コンクール」を開催しています。このコンクールでは頭取・グリーンキーパーが学校花壇を現地審査し、優秀な学校を表彰しており、児童自身がデザインを考案するなど、各学校それぞれの工夫がみられます。



写真3 学校花壇コンクール審査会の様子

現在、当市では16地方銀行、頭取・グリーンキーパー122名が中心となって市民の皆様とともに、緑化推進活動に取り組んでいます。今後も花と緑の銀行黒部支店では市民の皆様のご協力のもと、より一層花と緑にあふれるうるおいのあるまちづくりを目指してまいりたいと考えております。

結びに公益財団法人花と緑の銀行の益々のご発展と皆様方のご健康とご活躍をご祈念申し上げます。



写真4 石田小学校 花壇

生態系に配慮した宿根草の庭づくり ～ ルドベキア・フルギダ ‘ゴールドストラム’ ～

職藝学院

教授 渡邊美保子

宿根草が植栽された場所から逃げ出していくのは、タネがこぼれて発芽するか、地下茎が伸びて広がるかのいずれかです。宿根草には種子で繁殖するよりも、地下茎で陣地を拡大するタイプが多くあります。地下茎で広がるタイプの中でも1年目に遠くまで伸びてゆくもの、開花した場所から少しだけ離れたところに新芽を出すものなどがあります。植栽後の宿根草は一冬越すごとに広がり変化してゆきますので、逃げ出しを防ぐためのコントロールが必要です。

北アメリカ原産のキク科、ルドベキア・フルギダの栽培品種ゴールドストラムは、草丈およそ100cm、7月中旬から9月初旬ごろまで咲く開花期間の長い宿根草です（写真1）。真夏の暑さや乾燥に強く、レモン色の一重の花びらが水平に咲く姿は、空中に浮いているようです。繁殖が旺盛でこぼれダネと地下茎の両方で広がってゆきます。一本の茎の根元から地下茎を2～3本ぐらい伸ばし、その先に新芽を出して陣地を広げます。また、こぼれダネの発芽率が良く、発芽するとオオバコのような姿になるのですぐにわかります（写真2）。

毎年のお手入れとしては、ルドベキアの群落が広がり過ぎないようにすることが大切です。地下茎が他の宿根草の隙間に入りこんだら、茎が伸び始める5月中旬から6月初旬頃に抜き取ります（写真3）。見逃すと隣の宿根草の生育を妨げることになるので注意しましょう。ただし、この方法では十分にコントロールできないかもしれません。完全に抜き取る場合は、常緑の葉がびっしりと地面を覆っている株から範囲を決めて外側から掘り起こして抜き取り、面積を小さくします（写真4）。また、タネがこぼれる前の8月中旬に、タネをつけた花がらを茎ごと切り戻すことをおすすめします（写真5）。

※ ルドベキア・フルギダ ‘ゴールドストラム’の詳細な説明は、『花と緑の銀行だより 192号』（2014.9月号）参照（花と緑の銀行ホームページの技術情報『富山で楽しむ宿根草』シリーズ 3No.25にも掲載）



写真1 7月中旬。茎から少し離れた所まで地下茎を伸ばし広がってゆく。陣地を拡大し続けるため、隣にある他の宿根草まで侵入してきた地下茎を毎年抜き取る。



写真2 9月初旬。花壇の外に逃げ出し、こぼれ種から発芽した実生。見逃すと翌年、茎が伸びて開花する。



写真3 6月。茎を根元から抜き取り、広がりを抑える。地下茎の先に小さな葉を出す。葉は丸く大きくなり冬を越す。



写真4 3月中旬。この時期までに広がり過ぎた部分を根元から完全に掘り起こして撤去する。



写真5 8月中旬には、タネがでるはじめる。9月中旬には咲き終わりタネを落とし続けるので茎ごと切り戻す。

庭木に利用する樹種の特徴と管理

～ ドウダンツツジ ～

(一社) 日本樹木医会富山県支部

樹木医 西村 正 史

落葉広葉樹は、秋になると緑色の葉が黄色あるいは紅色に変化して、我々の目を楽しませてくれます。紅葉する樹木の1つにドウダンツツジがあります。今回はこの樹木を紹介します。

1 特徴

ツツジ科ドウダンツツジ属の落葉低木で、庭木や公園樹として利用されています。植える時に特に土地を選ぶことはありませんが、できれば肥沃で排水の良い場所を選んでください。陽樹のため、日当たりの良い場所を好みます。半日陰でも育ちますが、日陰になるほど育ちが悪くなり、花数も少なくなります。成長は遅いものの刈り込みに強い特徴があります。

我家の玄関前には2本のドウダンツツジがあります(写真1、2)。これらは盆栽として育てていたものを移植したもので、30年程度経過しております。成長が遅いことを反映してか、高さは1m程度で、移植時からあまり大きくありません。狭い庭に適している樹木の1つです。



写真1 花が咲いている時のドウダンツツジ
(2025年4月22日撮影)

春になると小さな花を沢山咲かせます(写真1)。花は小さいですが、近づいて見るとスズランに似た白い壺形のかわいらしい花です(写真3の左)。花が咲き終わると黄色っぽい実となり(写真3の中央)、9月になると赤くなります(写真3の右)。



写真2 紅葉している時のドウダンツツジ
(2025年11月23日撮影)

11月になると紅葉します。紅葉は非常に美しく、モミジの紅

葉に匹敵するほどのすばらしさです(写真2)。単木だけでなく生垣としても植えられています(写真4)。紅葉の時期になると、多くの家庭で植えられていることがわかります。

2 維持管理

剪定は、花が咲いた後に余計な枝を切り落とす程度にとどめ、自然樹形で育てるのが一般的です。我家のドウダンツツジは剪定をほとんどしていませんが、比較的に整っており、放任してもよいのかもしれませんが、剪定に強いのでいろいろな樹形にすることも可能です。その際は、専門の造園業者さんに相談してください。

夏や乾燥が続いた時には灌水を心がけてください。冬期には雪害の被害を受けますので、雪囲いをしてください。病害虫による被害は少ないですが、カイガラムシやカミキリムシの被害が発生することがあります。前者では浸透移行性殺虫剤で、後者では噴射式殺虫剤で、それぞれ対応してください。



写真3 ドウダンツツジの花と実
(左:花 (2025年4月22日撮影)、中央:実 (2025年6月27日撮影)、右:実 (2025年9月20日撮影))



写真4 紅葉している時のドウダンツツジ
(2025年11月20日撮影)



ステップアップ研修に参加して ～ チャレンジ精神を日々忘れずに！～

花と緑の銀行 入善支店

飯野地方銀行 グリーンキーパー 飯田 好子

全 20 単位の予定表を前に、果たして皆勤賞はいただけるものかと一抹の不安が募りました。

初回の 4 月 16 日は、先ずオリエンテーション、受講生の自己紹介、ボランティア活動の心構えの講義です。ボランティアとは、「放っておけない」「何かと一緒に活動したい」「自分以外の誰かのためみんなのために、見返りを求めず行動する」。出会いや発見、感動、喜びといった、いわば精神的な報酬を得る活動で、行政にはない柔軟性や機動性があり、ボランティアが必要とされる重要なポイントとなっています。私は、海岸の清掃や公道のごみ拾い、花壇に隣接した歩道の草刈、そして、街の資源ごみ回収常設ステーションの清掃等々に、所属団体や個人の年間行事と位置づけて行っています。

次に、花壇づくりの第一歩として、花壇のテーマとデザインを決めます。まず各々が案を持ち寄り、班で検討を行って、ポイントや工夫について班の意見をまとめます。花の色が持つ性格や色同士の関係、花のカラーサークルなどを参考にし、ひとつおきの花の色合わせで動きを出します。島先生から、花苗の選択や夏花壇に向く植物について、現物見本を使って指導を受けました。

実際に花壇に出ると、まず、土壌の診断です。植物の好きな通気性・排水性・保水性・保肥性が良い有機物をほど良く含み、酸性でもアルカリ性でもなく、また、軽すぎず重すぎず、ホコホコでまるで魔法の土のようです。その後、一つの花壇に 50～55 ポットの花苗を選定し、花壇に施肥し

て定植にいたりしました。

花壇のメンテナンス作業の研修を何度も重ねながら、花々の成長を見るにつけ、個性豊かななどの花も、うだるような夏の暑さにも負けず淡々と咲く力強さは見事で、愛おしく思えました。植物にも試練ですが、私たちにとっても熱中症対策は必須でした。

また、花柄摘みの勉強に入った時、私にとっては未知の世界で、なぜ花柄摘みが必要なのか、島先生の講義になるほどと納得です。より美しく、より長く花を咲かせるために重要であることを学び、目から鱗でした。実際に花壇で実習しましたが、コツをつかむのは容易ではありませんでした。切りすぎたり、切らなさすぎたりしながら、花々の種類によって違いがあることを教えていただきました。研修の中盤に、もっとこんな種類の花を！とか、色彩のバランス等々成長する花壇の先を見通せず、反省点も多々ありました。

ボランティア精神のもと、日々こつこつと草むしりにいそしみ、新しい花を植え、咲けばしみじみ美しいと感じ、道行く人たちをも楽しませる気持ち忘れずにいようと思います。また、一人でも多くの人たちをグリーンキーパーの仲間へ誘い込む活動を心掛けたいと思います。

閉講式までこぎつけたことは素直に嬉しく、スタッフのみなさまや研修仲間のみなさんとともに、都度新しい発見をし楽しい時間を共有できたことは、得難い経験でした。知らなかったたくさんの知識を与えていただきありがとうございました。



4/30 花壇デザイン作成



6/11 寄せ植え



7/9 メンテナンス作業



9/9 現地視察（長野県須坂市）



11/19 閉講式

『令和8年度 頭取・グリーンキーパー ステップアップ研修』

の受講募集は、2月上旬を予定しています。
受講対象は、未受講の頭取・グリーンキーパー
さんです。各支店（市町村担当課）までお問い合わせください。

「全国花のまちづくりコンクール」で大臣賞受賞

第35回「全国花のまちづくりコンクール市町村部門」において、射水市が大賞（国土交通大臣賞）を受賞されました。

本県では令和5年の黒部市立若栗小学校（文部科学大臣賞）以来2年ぶりで、大賞・最優秀賞の受賞は24回目となります。



写真1 東京での表彰式

1 「全国花のまちづくりコンクール」について

このコンクールは、1990年に大阪で開催された国際花と緑の博覧会の基本理念である「自然と人間との共生」を継承し、花のまちづくりを全国的に展開することを目的に、1991年から開催され今年で35回目となります。

コロナ禍で一時応募数が減少していましたが、今年は924件と、昨年より319件増加しました。特に団体部門で応募数の増加が目立ち、昨年の361件が604件となっています。

2 射水市の取組み

射水市は平成17年に新湊市と射水郡の小杉町、大門町、大島町、下村の1市3町1村が合併して以来、20年間にわたり、旧市町村の垣根を超えた住民の一体感を醸成する手段の一つとして、「花のまちづくり」に取り組んでこられました。

花のまちづくり推進にあたり、市内全域で花と緑を推進する「花と緑の銀行射水支店」も全面協力し、住民が主体となり行政がサポートする体制を構築しました。緑の基本計画の策定をはじめ、市内各地に点在する花壇の魅力を再発見し、互いに切磋琢磨する場としての花壇コンクールや市民の集いの開催、地方銀行への花苗配布や活動費補助など、各種の支援を行ってきた結果、その活動や実績は地域の財産といえるまで発展してきました。



写真2 花壇コンクール

さらに、射水市では、種子を入れた泥団子を地域の花壇に植栽して育てる“種団子”を特色あるアイテムとして用いて、保育園や介護施設で花にふれあう教室を開催し、福祉活動を進めるとともに新たな担い手の



写真3 市民の集い

育成にも取り組んでいます。こうした取組みは現在では市内全域に広がり、花づくりを通じた世代間交流の場としても定着しています。

また、米作りも盛んな射水市では、米作りに伴って発生する廃棄物のもみ殻を、農協や県立大学、地元企業などと連携して有効活用し、もみ殻堆肥として花壇に使うことで、花壇づくりにおいてもSDGsに貢献しています。



写真5 全国コンクール
現地審査

審査では、長年にわたる「花と緑の銀行」のフレームを活かした射水市の継続的で意欲的な物心両面の支援と、それらの支援が各地域でポテンシャルの高い人材育成と活動の継続に繋がっていることが高く評価されました。

また、花のまちづくりの担い手を長年輩出し、地域内の人材育成においても価値の高い活動となっていることも評価されました。

今後は、担い手の高齢化や人手不足により、花壇管理の負担が増大している現状に対応するため、特に若年層が花に親しめる機会の一層の創出に取り組んでいきたいとのことです。



写真6 花壇コンクール
金賞 作道小学校

3 県内からのその他受賞者

今年も県内の各地域における花とみどりのまちづくりが高く評価され、射水市の大賞の他、次の皆さんが受賞されました。

◎入選 団体部門（4団体）

- 上堀駅を愛する会（富山市）
- 高岡市立醍醐公民館花と緑の推進部会（高岡市）
- 市井自治会（射水市）
- 花と緑の銀行上市支店（上市町）

◎入選 学校部門（1校）

- 成美小学校（高岡市）



写真4 種団子づくり



花と過ごした第二の人生

花と緑の銀行 砺波支店

南般若地方銀行 グリーンキーパー 田邊 和子

私は農家に生まれ、緑に囲まれた環境で育ち土いじりや花が大好きでした。結婚で東京近郊のマンション住まいになり土や花に触れる機会は少なく、せめてもと思いベランダでゼラニウムなどの花を育てていました。夫の定年を機に砺波市に家を建てUターンし、狭い庭で花や野菜作りをしたり、気軽に受講できる講習会に参加したりしました。

その時、県の広報誌を見て「花と緑の銀行」を知り、講習会に参加して登録証をいただいたのがきっかけとなり、数か月後、地区の花と緑の地方銀行の方から「ぜひグリーンキーパーの活動に参加して欲しい」と誘われました。まったく知る人もいない土地で不安でしたが、花が好きなので地元の方々とつながりを深めたいと思い参加することにしました。

入会した当時の花壇は小学校の校庭の一角にあり、面積も狭く人の目に触れにくい場所で、他の地区の花壇を見て羨ましく思いました。数年後、南般若公会堂の駐車場が拡大整備されるのに伴い、駐車場に面した場所へ花壇が新しく造成されました。花壇名を「かがやき花壇」とし、面積

も広く環境も良くなり、頭取を始めグリーンキーパーの熱意が高まり、コンクールを目指そうという意気込みになりました。土づくりから始め、環境にあった花選びなどに苦慮しながらも、年を追うごとに花の生育が良くなりました。

皆でアイデアを出し合ってデザインを決めて花を植え、日々の水やりや花柄摘み等こまめに手入れを行いました。その結果、数年後には次々と賞をいただくまでに成長し、平成27年と平成30年には市と県の最優秀賞をいただくことができました。

最近では、頭取・グリーンキーパーでLINEグループを作り日々の活動の連絡を行うほか、「南般若花と緑『かがやき花壇』」のホームページで活動内容も紹介していますのでぜひご覧ください。

これからも、南般若地区の皆さんで花づくりを盛り上げていきたいと思っています。



写真2 「かがやき花壇」の管理、南般若地区の皆さんと

写真1 一般花壇の部最優秀賞（H30年度）

報告コーナー

「富山県花と緑の祭典2025 第53回花と緑の大会」を開催

「第53回花と緑の大会」を、11月13日（木）に富山県民会館において開催しました。

- ・大会では、花と緑の功労者表彰（知事表彰2個人1団体、理事長表彰29個人4団体）及び県花と緑のコンクール入賞者表彰（9個人22団体）が行われました。
- ・花と緑の講演会では、神戸学院大学現代社会学部講師の菊川裕幸先生から、「健康寿命を延ばす植物とのかかわり方」と題して講演いただきました。



花と緑の功労者表彰

お知らせコーナー（1月～3月の主なイベント）

花とみどり・ふれあいフェア

- 1 日 時 令和8年2月28日（土）10：30～16：30
3月 1日（日）10：00～16：00
- 2 場 所 フューチャーシティ ファボーレ（富山市婦中町下轡田 165-1）
- 3 主な内容
 - (1) 花と緑の展示コーナー
 - ・コンテナガーデンコンテスト：2月20日（金）～3月1日（日）
 - ・「わたしの寄せ植え」展：2月22日（日）～3月1日（日）
 - ・花と緑のコンクール入賞作品展：2月20日（金）～3月1日（日） など
 - (2) 花と緑の体験コーナー
 - ・観葉植物の寄せ植え、フラワーギャザリング など
 - (3) その他
 - ・花の種無料貸し出しコーナー など

◇お知らせ 《ステップアップ研修》

研修の様子がインターネットのブログでご覧いただけます。

“普及研修部だより”で検索するか、下記URLを入力、または下記QRコードを読み取ってください。

・普及研修部だより

<https://fukyu-kensyu.cocolog-nifty.com/>



ステップアップ研修 (R7.6.25)

富山県中央植物園

- 第13回 クリスマスローズ展 2月21日（土）～23日（月・祝）
 - ◆栽培講習会 21日（土）・22日（日） 14：00～15：30
- 第54回 富山県蘭まつり大会 3月6日（金）～8日（日）
 - ◆栽培講習会 7日（土）・8日（日） 10：30～12：00、14：00～15：30
- 第22回 雪割草富山県大会 3月13日（金）～15日（日）
 - ◆栽培講習会 14日（土）・15日（日） 14：00～15：30
- お花見フェア 3月20日（金・祝）～ 4月15日（水） ※期間中の4月の木曜日も開園
 - ◆さくらマルシェ 3月28日（土）・29日（日） 10：00～16：00
 - ◆第15回さくらまつり（夜間開園） 4月2日（木）～5日（日）
 - ◆野外コンサート、呈茶席 4月11日（土）・12日（日） 10：00～16：00 など

※講習会の参加は無料ですが、別途入園料が必要です。

（詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。）

県民公園 頼成の森

- 竹スキーづくり教室 1月25日（日） 9：30～12：00 定員：20名 参加費：600円
- ♡冬♡の頼成の森観察会 2月1日（日） 9：30～13：00 定員：20名 参加費：500円
＜冬の森の中を探検しよう＞

（詳細はHPをご覧ください。お申し込み・お問い合わせは県民公園 頼成の森へ）

◆お願い

各行事の中止や内容の変更を行う場合があります。
各行事の詳細はその都度担当部署へお問い合わせください。

編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行
〒939-2713 富山市婦中町上轡田 42
TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923
<https://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園
〒939-2713 富山市婦中町上轡田 42
TEL 076-466-4187 FAX 076-465-5923
<https://www.bgtym.org>

県民公園頼成の森
〒939-1431 砺波市頼成 156
TEL 0763-37-1540 FAX 0763-37-1450
<https://www.bgtym.org/ranjyounomori/>



花と緑の銀行だより 238号

発行日 令和8年(2026)1月
再生紙を利用しています。